

積極予算で均衡ある発展を

豊かな住みよい町づくりに全力投球

3月定例
町議会

新年度予算など 15議案を可決

3月定例町議会は、5日から11日までの会期で開かれました。今回の定例会では、60年度の町の子算や条例の改正など、町長提出の15議案が上程され、すべて原案どおり可決されました。

また、佐瀬町長は開会にあたって、60年度の町づくりに取り組む方針を、次のように述べました。

(一般質問の内容は、5月号に掲載します)

60年度の町政の進め方(町長施政方針)



施政方針を説明する佐瀬町長

最近のわが国の経済は、世界の景気の回復、物価の安定などを背景として、ゆるやかな上昇過程にあります。また本格的な回復には至っておりません。このため、国は巨額の赤字国債に対処するために、財政改革を

強力に推進して、経費の徹底した節約・合理化を行い、限られた財源の中で質的な充実を図るよう、予算を編成しています。

財源を重点的・効率的に活用

こうした情勢の中で、国は地方自治体に対しても、予算編成にあたっては歳出を極力抑制し、一般行政経費の合理化を図って、財源の重点的かつ効率的な配分を行うように指導しています。

このような厳しい財政事情を背景に、豊かで住みよい横芝町をつくり上げていくために、次の4点を中心に、昭和60年度の予算を編成しました。

「通年型」で 予算を編成

第1点として、健全財政を堅持するために、「通年型」の予算編成を行いました。

これまでは、追加補正を期待しながらの慎重な編成でしたが、60年度は補正をあまり考えずに、当初から重点的に予算を計上しました。前年度に比べて7・4パーセント増の二十四億六千百万円で、一般会計はスタートします。

道路・農業基盤 の整備を重点に

第2に、60年度予算の重点施策として、道路を中心とした生

活基盤の整備、農業・商工業などの産業基盤の整備に、積極的に予算を投入します。

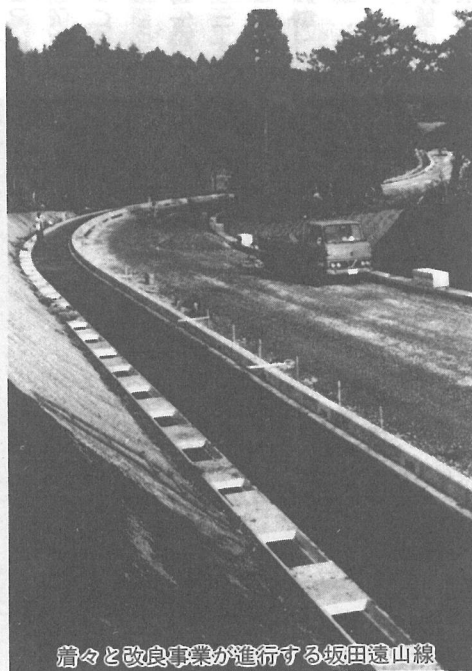
道路整備

坂田遠山線の改良事業費に、一億二千万円という巨額な予算を当初から計上したほか、北清水新青・東線の拡幅、役場から横芝小わきを通る町道鳥喰新田線への歩道設置——以上の3路線を、60年度の最重要施策として推進していきます。

これらを含めた土木費は、予算総額の15・5パーセントを占める三億八千万円で、前年度に比べて39パーセント増という高い伸び率を示しています。

農業基盤整備

60年度新規事業として、長倉地区の特別排水対策事業と屋形地区のほ場整備事



着々と改良事業が進行する坂田遠山線